

Cariot Ver2.18 リリースノート

- (1) DriveCast タブに、DriveCast を新規作成するためのボタンを追加
- (2) ルートを作成する際のオプション項目の初期値を変更
- (3) デバイス モデルを表示するための項目を追加
- (補足)アップグレードに失敗する場合の対応方法
* 特定の環境で、アップグレードが失敗する場合がございますので、その際にご利用ください。

(1) DriveCast タブに、DriveCast を新規作成するためのボタンを追加

■ 課題 (要望)

- これまで DriveCast を作成するには、車両タブから新規作成を行いました。
- より直感的に操作できるように DriveCast タブからでも新規作成できるようにしたい。

■ 改善点 (対応内容)

- DriveCast を新規に作成する際に、DriveCast タブからでも新規作成できるようにボタンを追加しました。



The screenshot shows the Cariot web application interface. At the top, there is a navigation bar with the Cariot logo and menu items: ホーム, ドライバー, 車両, デバイス, 走行データ, and ルート. Below the navigation bar, the main content area is titled 'DriveCast ホーム'. A red box highlights a button labeled '新規DriveCast'. A callout box points to this button with the text: 'DriveCast タブに、[新規 DriveCast] ボタンを追加しました。これにより DriveCast タブからでも新規の DriveCast を作成することができるようになります。' Below the button, there is a table with two columns: '配信名 ↓' and '配信先URL'. The table contains two rows of data:

配信名 ↓	配信先URL
とても昔に動いた車両	https://app.dev.cariot.jp/map/-ilnxzprSGgjud1CD3SjXA
atrack-30001 コメントつきDriveCast	https://app.dev.cariot.jp/map/S0BbdRavS9cgrw3oWCVKWg

At the bottom left of the page, there is a button labeled '前へ'.

(2) ルートを作成する際のオプション項目の初期値を変更

■ 課題 (要望)

- 拠点を順不同に登録した場合に、走行のルートが表示されてしまう。
- 順不動で走行する場合もあるので、走行のルートの表示を任意選択できるように変更してもらいたい。

■ 改善点 (対応内容)

- ルート作成時のオプション初期値を「順序あり」から「順不同」に変更になりました。



(3) デバイス モデルを表示するための項目を追加 (1/8)

■ 課題 (要望)

- 使用しているデバイスを管理するために、デバイス モデルを入力・表示するための項目が欲しい。

■ 改善点 (対応内容)

- ご利用のデバイス モデルを表示するための項目を追加しました。
- 新規に追加したデバイスについては、デバイス モデルが自動的に表示されます。
* 既に登録してあるデバイスについては空欄となりますが、デバイス モデルを入力していただくことが可能となります。

Navigation: Cariot | ホーム | ドライバー | 車両 | **デバイス** | 走行データ

デバイス
generic-577383960905031680

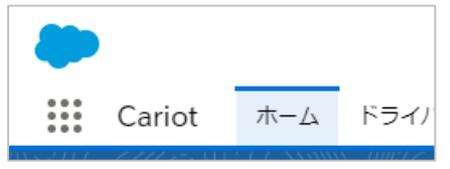
車両	デバイスタイプ	デバイスUID
	generic	generic-577383960905031680

関連 | 活動 | **詳細** | ステータス | アーカイブダウンロード

デバイス名	generic-577383960905031680	所有者
車両		
デバイスUID	generic-577383960905031680	
モデル	EM1	
車両の表示に使わない	<input type="checkbox"/>	

(3) デバイス モデルを表示するための項目を追加 (2/8)

デバイスの詳細にデバイス モデルを表示するための項目を追加するには、以下の操作を行います。

<p>LEX ユーザの場合 Cariot の画面 左上の表示が左記である場合は LEX の表示テーマとなります。</p>		<p>本ドキュメントの 7 ページから 9 ページをご確認ください。</p>
<p>Classic ユーザの場合 Cariot の画面 左上の表示が左記である場合は Classic の表示テーマとなります。</p>		<p>本ドキュメントの 10 ページから 12 ページをご確認ください。</p>

(3) デバイス モデルを表示するための項目を追加 (3/8)

操作手順 (LEX)



1. 画面 右上の歯車のアイコンをクリックし、表示されたメニューから [設定] をクリックします。



2. 画面 上部の [オブジェクト マネージャ] をクリックします。

(3) デバイス モデルを表示するための項目を追加 (4/8)

操作手順 (LEX)

設定 オブジェクトマネージャ	
49+ 件の項目 (表示ラベル順)	
スコアカード	Scorecard
スコアカード割り当て	ScorecardAssociation
スコアカード総計値	ScorecardMetric
デバイス	Cariot__Device__c

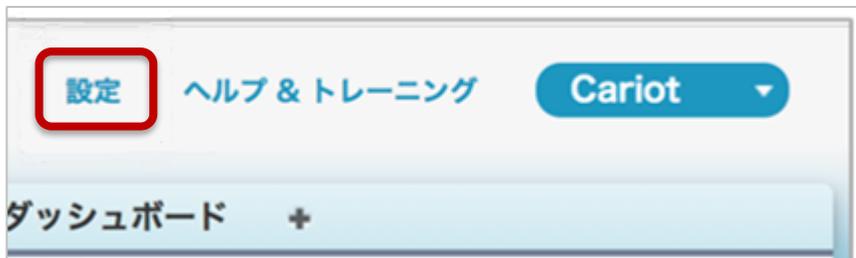
3. 画面を下方向にスクロールし、[デバイス] をクリックします。

設定 > オブジェクトマネージャ デバイス	
詳細	ページレイアウト 2 件の項目 (ページレイアウト名順)
項目とリレーション	ページレイアウト名
ページレイアウト	デバイスレイアウト
Lightning レコードページ	デバイスレイアウトLEX
ボタン、リンク、およびアクション	

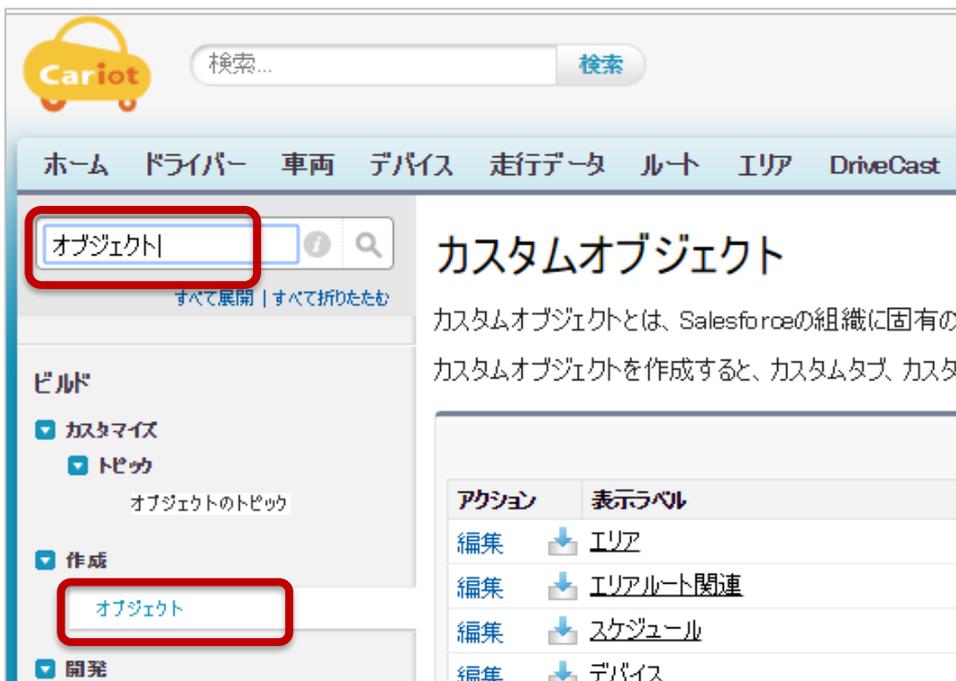
4. 画面 左側の [ページ レイアウト] をクリックします。
次に [デバイス レイアウト LEX] をクリックします。

(3) デバイス モデルを表示するための項目を追加 (6/8)

操作手順 (Classic)



1. 画面 右上の [設定] をクリックします。



2. 画面 左上の検索ボックスに「オブジェクト」と入力し、検索を実行します。次に、[作成] の配下にある [オブジェクト] をクリックします。

(3) デバイス モデルを表示するための項目を追加 (7/8)

操作手順 (Classic)

カスタムオブジェクト

カスタムオブジェクトとは、Salesforceの組織に固有のデータを保存できるデータベース機能を開発できます。

カスタムオブジェクトを作成すると、カスタムタブ、カスタム関連リスト、レポート、ダッシュボードデータにアクセスすることも可能です。

アクション	表示ラベル	インストール済みパッケージ	カスタムオブジェクト
編集	エリア	CariotCore	
編集	エリアルート関連	CariotCore	エリア、ルート
編集	スケジュール	CariotCore	
編集	デバイス	CariotCore	

3. 画面を下方方向にスクロールし、[デバイス] をクリックします。

ページレイアウト

アクション	ページレイアウト名
編集 削除	デバイスレイアウト
編集 削除	デバイスレイアウトLEX

項目セット

項目セットが定義されていません。

4. 画面を下方方向にスクロールし、[ページレイアウト] セクションから [デバイスレイアウト] の [編集] をクリックします。

(3) デバイス モデルを表示するための項目を追加 (8/8)

操作手順 (Classic)

5. 画面 上部の項目の一覧から [モデル] 項目を [デバイスの詳細] セクションに追加します。次に [保存] ボタンをクリックします。

The screenshot shows the Salesforce Classic interface. At the top left, the '保存' (Save) button is highlighted with a red box. Below it, the '項目' (Items) list is visible, with 'モデル' (Model) highlighted in red. An orange arrow points from the 'モデル' item to the 'デバイスの詳細' (Device Details) section. A callout box contains the text 'ドラッグ & ドロップして項目を追加します' (Drag & drop to add items). The 'デバイスの詳細' section shows a table with columns for 'デバイス名' (Device Name), '車両' (Vehicle), 'デバイスタイプ' (Device Type), and 'モデル' (Model). The 'モデル' column is highlighted in red.

以下のページからインストールを行ってください。

<https://login.salesforce.com/package/installPackage.apexp?p0=04t0K000001Rt0U>

現在の Cariot バージョン

これからインストールしようとしている Cariot バージョン

以前のバージョンがインストールされています。既存のデータを保持したままアップグレードできます。

インストール済み: 2.14 (2.14) 新しいバージョン: 2.14 (2.14)

管理者のみのインストール

1 すべてのユーザのインストール

特定のプロファイルのインストール

2 アップグレード キャンセル

アプリケーション名	公開者	バージョン名	バージョン番号
CariotCore	Cariot/パッケージ開発組織	2.14	2.14

その他の詳細 コンポーネントを表示

1. [すべてのユーザのインストール] をクリックします。

2. [アップグレード] ボタンをクリックします。

(補足)

Cariot Ver2.18 のアップグレード に失敗する場合の対応方法

Cariot 2.18 のアップグレードに失敗する 場合の対応方法 (1/7)

以下のようなメッセージが表示されて Cariot 2.18 のアップグレードが失敗する場合は、次ページ以降の操作をお試しいただき、デバイスオブジェクトの [活動を許可] チェック ボックスをオンにした後に、再度 Cariot 2.18 のアップグレードを実行してください。

パッケージ "CariotCore 2.15" のインストール要求は正常に処理されませんでした。salesforce.com 組織内のデータまたは設定情報への影響はありません。

インストールが何度も失敗する場合、通常の方法で Salesforce CRM カスタマーサポートにお問い合わせいただき、次の情報をお知らせください。

組織: Cariotフレクト実車セールス環境 (00D280000014TC0)

ユーザ: セールスLEX フレクト (0050I000008A0Ut)

パッケージ: CariotCore (04t0K000001AASR)

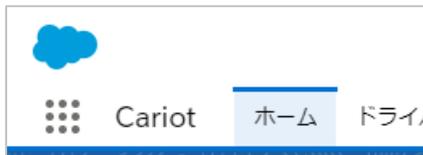
エラー番号: 742989889-765085 (658179458)

問題:

1. (LightningDeviceRecordPage) Component [force:relatedListSingleContainer] attribute [relatedListApiName]: Could not find related list [ActivityHistories] for entity [Cariot__Device__c] LightningDeviceRecordPage: Component [force:relatedListSingleContainer] attribute [relatedListApiName]: Could not find related list [ActivityHistories] for entity [Cariot__Device__c]

LEX ユーザの場合

Cariot の画面 左上の表示が左記である場合は LEX の表示テーマとなります。



本ドキュメントの 16 ページから 18 ページをご確認ください。

Classic ユーザの場合

Cariot の画面 左上の表示が左記である場合は Classic の表示テーマとなります。



本ドキュメントの 19 ページから 21 ページをご確認ください。

Cariot 2.18 のアップグレードに失敗する 場合の対応方法 (2/7)

操作手順 (LEX)



1. 画面 右上の歯車のアイコンをクリックし、表示されたメニューから [設定] をクリックします。



2. 画面 上部の [オブジェクト マネージャ] をクリックします。

Cariot 2.18 のアップグレードに失敗する場合の対応方法 (3/7)

操作手順 (LEX)

設定 オブジェクトマネージャ 49+ 件の項目 (表示ラベル順)	
スコアカード	Scorecard
スコアカード割り当て	ScorecardAssociation
スコアカード総計値	ScorecardMetric
デバイス	Cariot__Device__c

3. 画面を下方向にスクロールし、[デバイス] をクリックします。

設定 > オブジェクトマネージャ デバイス	
詳細	詳細 編集 削除
項目とリレーション	説明
ページレイアウト	
Lightning レコードページ	API 参照名 Cariot__Device__c
ボタン、リンク、およびアクション	レポートで使用する ✓
コンパクトレイアウト	カスタム ✓
	表示ラベル(単数形) デバイス
	活動の追跡 ✓
	項目履歴管理

4. 画面右上の [編集] ボタンをクリックします。

Cariot 2.18 のアップグレードに失敗する場合の対応方法 (4/7)

操作手順 (LEX)

設定 > オブジェクトマネージャ
デバイス

レコード名 | デバイス名 | 例: 取引先名

データ型 | テキスト

追加の機能

- レポートを許可
- 活動を許可
- 項目履歴管理

オブジェクトの分類

これらの設定が有効になっている場合、このオブジェクトは Enterprise Application オブジェクトとして分類されます。これらの設定が無効になっている場合、このオブジェクトは Light Application オブジェクトとして分類されます。 [詳細はこちら](#)。

- 共有を許可
- Bulk API アクセスを許可
- ストリーミング API アクセスを許可

リリース状況 [ヒント](#)

- 開発中
- リリース済み

検索状況

この設定が有効になると、ユーザは検索時にこのオブジェクト種別のレコードを検索できます。 [詳細はこちら](#)。

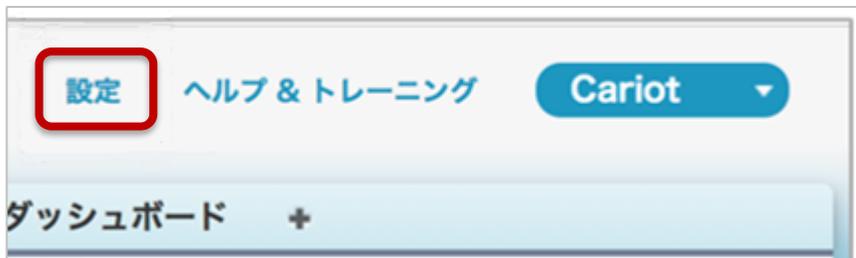
- 検索を許可

保存 | 保存 & 新規 | キャンセル

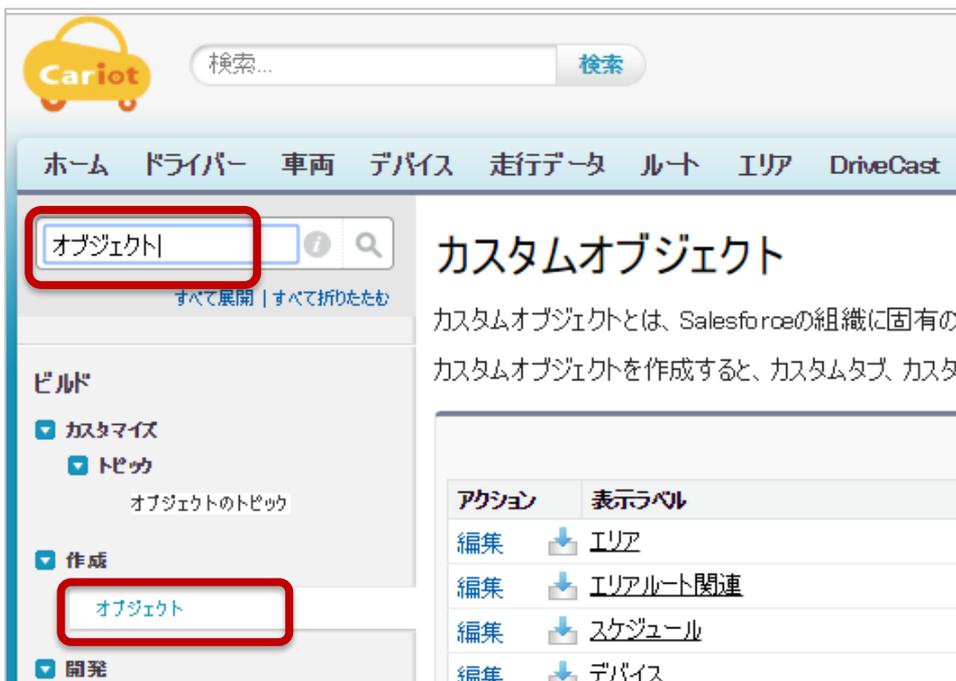
5. 画面を下方向にスクロールし、[追加の機能] セクションにて [活動を許可] チェックボックスをオンにし、[保存] ボタンをクリックします。

6. Cariot 2.18 のアップグレードをお試しください。

操作手順 (Classic)



1. 画面 右上の [設定] をクリックします。



2. 画面 左上の検索ボックスに「オブジェクト」と入力し、検索を実行します。次に、[作成] の配下にある [オブジェクト] をクリックします。

Cariot 2.18 のアップグレードに失敗する場合の対応方法 (6/7)

操作手順 (Classic)

カスタムオブジェクト

カスタムオブジェクトとは、Salesforceの組織に固有のデータを保存できるデータベース機能を開発できます。

カスタムオブジェクトを作成すると、カスタムタブ、カスタム関連リスト、レポート、ダッシュボードデータにアクセスすることも可能です。

アクション	表示ラベル	インストール済みパッケージ	カスタムオブジェクト
編集	エリア	CariotCore	
編集	エリアルート関連	CariotCore	エリア、ルート
編集	スケジュール	CariotCore	
編集	デバイス	CariotCore	

3. 一覧から [デバイス] をクリックします。

カスタムオブジェクト
デバイス (管理)

このカスタムオブジェクトの定義は管理されています。つまり、標準項目、カスタム項目、ウレージョン、入力規則、ボタン、リンク、およびアクション、レコードタイプ

カスタムオブジェクトの定義の詳細

表示ラベル	デバイス	編集
オブジェクト名	Device	
名前空間プレフィックス	Cariot	
API 参照名	Cariot_Device_c	

4. [編集] ボタンをクリックします。

Cariot 2.18 のアップグレードに失敗する 場合の対応方法 (7/7)

操作手順 (Classic)

カスタムオブジェクトの定義の編集

保存 保存 & 新規 キャンセル

カスタムオブジェクトの情報

タブ、レイアウト、レポートなどで表示される表示ラベルです。
名前または表示ラベルを変更すると、既存のインテグレーションと差し込みテンプレートに影響
表示ラベル | デバイス

オブジェクト名は、API 経由でオブジェクトを参照する際に使用されます。
オブジェクト名 | Device 例 Account

説明

カスタムヘルプの設定

Salesforce 標準の [ヘルプ & トレーニング] ウィンドウを開く
 Visualforce ページを使ってウィンドウを開く

コンテンツ名 | ---なし---

レコード名の表示ラベル型を入力

レコード名は、ページレイアウト、主要なオブジェクト、関連リスト、ルックアップ、検索結果で表示
「取引先名」になり、ケースでは「ケース番号」になります。レコード名の項目は、API 経由で参照
レコード名 | デバイス名 例 取引先名

データ型 | テキスト

追加の機能

レポートを許可
 活動を許可
 項目管理
 Chatter グループ内で許可

5. 画面を下方方向にスクロールし、[追加の機能] セクションにて [活動を許可] チェックボックスをオンにし、[保存] ボタンをクリックします。

6. Cariot 2.18 のアップグレードをお試しください。